

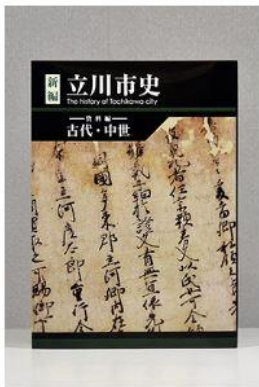
立川市史編さん委員会	
令和4年3月28日	
資料番号	5

立川市 WEB ページへの市史目次データ公開について

これまで刊行してきた「新編立川市史資料編」について、目次（細目次）の PDF データを立川市 WEB ページ上に公開した。今後、解説など PDF データの公開も検討する。

立川市 WEB ページ

新編立川市史資料編古代・中世



B5判・カラー口絵16ページ・本文604ページ・上製本・頒布価格2,500円

『資料編古代・中世』では、奈良時代以前から戦国時代までの立川市域に関わる文献資料を収録しました。

収録資料の中心は、中世立川氏に関する資料です。立川氏の末裔が伝えた古文書（立川文書）のほか、戦国時代までの立川氏に関する資料を網羅的に収集し、また立川郷周辺地域の領主に関する資料も収録しました。

立川氏を含む西党日奉氏一族に関する資料を収録したことも本資料編の特徴です。西党日奉氏は、武蔵国衙在庁官人として活動し、その一族は多摩郡西部を中心に、鎌倉時代には西国にも所領を得て活動しました。ここに日奉氏一族の全体像が捉えられるようになりました。

そしてもうひとつの目玉は、玄武山普濟寺に関する資料です。ここには今回初めて紹介する資料もあります。

一点一点の資料は難解ですが、これを読み解いていくことで古代・中世の立川と周辺地域に生きた人びとの姿が浮かび上がってくるはずです。

■ 主な内容(リンクをクリックするとPDFが開きます)

口絵

刊行にあたって

[目次 \(PDF : 1,658KB\)](#)

[細目次 \(PDF : 2,227KB\)](#)

凡例

リンク先をクリックすると別ウインドウにて PDF データを閲覧できます。